

自然を語る会

2020年2月15日(土) 10:00~12:00

於:東京ボランティア・市民活動センター

参加者:11名

担当:小川真理子さん、松本聰美さん

『環境にやさしいライフスタイル』

今月の自然を語る会のテーマは「環境にやさしいライフスタイル」。はじめに代表の小川さんから「社団法人地球環境温暖化防止全国ネット」が提唱している JCCCA (Japan Center for Climate Change Action) の発行文書『クールチョイス 節エネガイド』とマイクロプラスチック問題の最新情報について紹介いただきました。

JCCCA の資料で特に目を引いたのは国民一人当たりの二酸化炭素排出量で、燃料種類別に見ると電気が全体の 48.6%を占めていてやはり断トツに多かったこと。更に電化製品別の消費電力量の統計では冷蔵庫が全体の 14.2%で第 1 位であったが 24 時間使用しているわりに少なく(省エネ化が進んでいるためのようだ)、逆に意外に多かったのはテレビ(8.95%)と照明器具(13.4%)。家庭内において電気を無駄に使っていることがないかあらためて考えさせられました。食に由来する温室効果ガス排出量では肉、穀物、乳製品がベスト 3。エアコン使用時に熱の出入りが最も多い場所は窓。以上のことから資料ではCO₂削減につながるライフスタイルとして次のことが提案されています。「野菜中心の食事」「乳製品を植物由来に転換」「家庭での食品ロス削減」「住宅の断熱化」「電力を再生可能エネルギー由来に」「乗用車の 1 人利用をやめる」「買い物やレジャーは公共交通機関で」「省エネ機器を賢く選ぶ」。普段の生活の中でも様々な省エネの工夫ができることをあらためて学びました。



マイクロプラスチックの最新情報は衝撃的でした。AFP ニュース(2019年6月)の記事によると「世界中の人々が毎週クレジットカード一枚分に相当する 5 グラムのマイクロプラスチックを摂取している」とのことでした。一般家庭の水道水にも含まれており、更にペットボトル飲料水は水道水の 22 倍ものマイクロプラスチックが含まれているのだそうです。既に人体にも取り込まれている。おそらく消化されずに排泄されていると思われるが、人体への影響が見えないだけに、地球上の生態系を含めて、今後の動向に注目していきたい。



後半は、会員の松本さんから、ご自身が実践されている環境に優しいライフスタイルについてご紹介して下さいました。はじめにプラスチック製品には多くの化学薬品が含まれていること、サランラップやフリーザーバックで包んだ食材を電子レンジで温める時は、ラップが破損しないように注意が必要(温めすぎない)とのお話がありました(私自身はしょっちゅう破損させていたので気を付けようと心に誓う)。

製品の注意事項をよく読むとその旨が記載されているが、でも小さな字で書いた注意書きを真剣に読むだろうかという疑問の声も。後半のテーマは家庭洗剤。ポイントははずばり、たくさんの洗剤を持つよりも、地球にやさしい<重曹・クエン酸・石鹼>で掃除をすることで、生活排水の水質を改善しましょう！ということ。重曹、クエン酸のメリットは、①思い立ったらすぐに始められる。②後始末が簡単。③収納場所が少なくて済む。④コストが少なくて済む。⑤環境にやさしい。

日頃の生活に密着した身近な話だけに、参加者の皆様も興味深々。フライパンや食器にこびりついた食べ物の残り物はどうやって処分するのか？食器洗浄機に適した洗剤は？トイレ掃除や浴槽の掃除にはどんな洗剤を何を使ったら。。。などなど具体的すぎる質問が沢山飛び交って大いに盛り上がりました。重曹もクエン酸も石鹼も100円ショップで売っている。早速実践してみたくなりました。



(文責：柳澤)